

仙台市 農政だより

2025年 夏号



とれたて仙台

仙台の大地の贈り物

【発行】仙台市経済局農林部(農林企画課、農業振興課、農業土木課)

水田輪作モデル構築事業を実施しています

仙台市では、宮城県、J A仙台、東北大学大学院農学研究科、農機具メーカー、種苗メーカー等とプロジェクトチームを組み、市内東部地区と西部地区のモデル農地において、スマート農業技術や環境負荷低減技術等を用いながら、水田での水稻生産を主軸に園芸品目や他穀類を生産する収益性の高い輪作体系の構築を図るための実証事業を実施しています。

東部地区では、ザルビオフィールドマネージャーを用いた大豆の可変施肥や防除・生育管理の実施、経営管理システムの導入等を行います。6月9日には、(農)六郷南部実践組合のほ場で、自動操舵トラクターに肥料散布マップデータを読み込ませ、ワイドスプレッターを使用して可変施肥を実施しました。施肥量を適切にコントロールすることで、収量アップや品質の安定化などが期待されます。

西部地区では、水田での園芸品目生産や大豆生産のほか、草刈作業軽減を目的とした畦畔へのカバークロップ播種や地力向上のための緑肥の生育管理等を行います。

今後もスマート農業機械の実演やカバークロップ等の効果実証を行っていく予定です。



写真)自動操舵トラクターによる施肥作業



写真)ザルビオ活用による可変施肥

【農業振興課生産支援係(電話:214-8335)】

スマート農業機械の導入を支援しています

仙台市では、令和6年度より、農業の生産性や効率性向上に取り組む集落営農組織を対象に、自動操舵システム付きの農業機械等、スマート農業機械の導入支援事業を行っています。

昨年度は、自動操舵システム付きトラクターやコンバイン、後付け自動操舵システムの導入に支援を行いました。自動操舵システムは、衛星測位システムにより自機位置を把握し、予め作成した走行経路等に沿って運転者によって操舵を行うことから、労働生産性向上、農作業の効率化等が期待されます。

＜導入者の声＞

- ・ 耕うん、播種等において高精度な直進走行が実現し、以後の作業効率が向上した。
- ・ 作業を自動化することで、労働者の大幅な負担軽減に繋がった。

【補助対象】 集団転作に取り組む集落営農組織・法人

【対象経費】 ①下記スマート農業機械・装置本体及び運用に必要な附属品等

- ・ 自動操舵システム付き農業機械
- ・ その他市が認めるスマート農業機械等

②業者による設定・設置経費等

【補助額】 導入経費の3/10以内、上限あり(予算の範囲内)

【農業振興課生産支援係(電話:214-8335)】

「今朝採り枝豆」の提供が始まりました

仙台市は生産地と消費地が近く、都心部でも新鮮な農産物を楽しむことができます。皆さまに「とれたて」のおいしさを知ってもらうため、仙台産農産物を生産者、流通事業者、お店、消費者へとつなぐ「とれたて仙台プロジェクト」を実施しています。“鮮度の良さ”、“良質”といった付加価値を高めることにより、生産者の収益向上につなげるとともに、市内の飲食店等で消費者等にPRすることにより、地域経済の活性化を図ります。

7月からは、「今朝採り枝豆」の提供が始まりました。枝豆は収穫から時間が経つほどに甘みやうまみが減っていく、鮮度が命の野菜です。プロジェクトでは、早朝に収穫した新鮮な「今朝採り枝豆」を、独自の流通体制で配送し、その日のうちに飲食店や量販店、小売店等で販売・提供しています。

量販店での販売初日となった7月1日には、みやぎ生協幸町店で、プロジェクトに参加している生産者が「今朝採り枝豆」のPRを行いました。この日販売されたのは「陽恵」という品種で、香りえだまめと呼ばれるほど豊かな香りと上品な甘さが楽しめます。「味がしっかり入ったおいしい枝豆です。とれたてをいち早くお届けするので、楽しんでいただきたいと思います」と佐藤和紀さん。朝5時から収穫した枝豆が店頭に並ぶと、とれたての旬の味を楽しもうと待っていたお客様が早速手に取っていました。

「今朝採り枝豆」は、品種をリレーしながら9月まで提供を予定しています。地元の生産者が作ったおいしい「今朝採り枝豆」をぜひご賞味ください。

○今朝採り枝豆提供期間：【量販店】7月1日～9月下旬予定

【飲食店】7月3日～9月30日予定

今年の提供店の詳細は、下記ウェブサイトまたはInstagramをご覧ください。



公式ウェブサイト・Instagram「とれたて仙台」では、今朝採り枝豆以外にも、仙台市の地産地消や農業に関する情報を発信しています。



「今朝採り枝豆」生産者のみなさん



【農業振興課農食ビジネス推進室(電話:214-8266)】

ため池の減災対策へのご協力をお願いします

これからの台風シーズンにおける出水対策として、支障の無い範囲でため池の低水位管理をお願いします。満水状態のため池では、溢水等による被災の可能性が高まります。

仙台市では、農業用ため池が決壊した場合に、人的被害を与える恐れがある防災重点農業用ため池の浸水想定区域等を示したハザードマップを公表しています。災害発生時の危険箇所や避難場所を事前に確認いただき、適切な避難行動にご活用ください。ハザードマップは、各区役所(若林区を除く)・総合支所で配布しているほか、市ホームページでもご覧いただけます。

【農業土木課管理係(電話:214-7328)】

多面的機能支払交付金制度により地域の共同活動を支援します



多面的機能支払交付金制度は、農地の維持のほか、水路の草刈り・泥上げ、農道の路面維持、施設の軽微な補修、花の植栽による景観形成など地域の共同活動を支援する制度です。現在、市内では51組織が農業振興地域内の農用地区域（青地）において活動しており、水路・農道等の保全管理に大きな成果を挙げています。

市では、今後も農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮のため、地域の共同活動に対して支援していきます。

来年度以降、新たに制度への取り組みをお考えの地域の方は、下記までご相談ください。

【農林企画課農地活用係(電話:214-8334)】

せんだい農業園芸センター加工研修の受講生を募集します

開催日時 (予定)	①令和7年 9月25日(木) 14:00~15:30 ②令和7年10月22日(水) 14:00~15:30 ③令和7年11月26日(水) 14:00~15:30
場 所	せんだい農業園芸センター 加工棟
内 容	主に園内で収穫した農産物を使い、食材の特徴などを学ぶ講座と、料理人が行う加工調理方法を見学する研修と、加工食品で調理したアレンジレシピの試食を行います。
使用食材	①ブドウ ②イチジク ③リンゴ
受 講 料	各研修内容ごと要確認
対 象 者	農業従事者または農産品加工に興味のある方
定 員	各回10名程度(各研修内容ごと要確認) ※先着順

○内容の詳細等は下記までお問い合わせください。

○申込方法

- ・受付期間：開催日の1か月前から1週間前まで
- ・電話またはFAX(住所、氏名、メールアドレス、電話・FAX番号、申込コースを記載)にて、下記連絡先まで
- ・ホームページ(<https://stbl-fruit-farm.jp/arai/training/>)からも申込みが可能です。

【仙台ターミナルビル(株)荒井事業所(電話:762-9688/FAX:762-9668)】

【農業振興課農食ビジネス推進室(電話:214-8266)】

「仙台市旬の香り市」に出店しませんか



「仙台市旬の香り市」(勾当台公園)開催の様子

「仙台市旬の香り市」は、市民に新鮮な地場産農産物や農産加工品を販売することを通じて、仙台の農業を理解していただくために開催している直売会で、仙台市と市内の農業者等で構成する「仙台市旬の香り市実行委員会」が主催しています。

令和6年には、勾当台公園カフェ前で4月から11月までの期間中毎月2回のペースで合計16回開催。せんだい農業園芸センターでも5月、6月、10月に開催しました。

市内の農業者や農業者の団体で「仙台市旬の香り市」に出店を希望される方や、「仙台市旬の香り市」に限らず、その他のイベント等への出店を希望される方は下記までご連絡ください。

【農業振興課農食ビジネス推進室(電話:214-8226)】

せんだい農業園芸センター(農と触れ合う交流拠点)の運営事業者の公募を実施中です

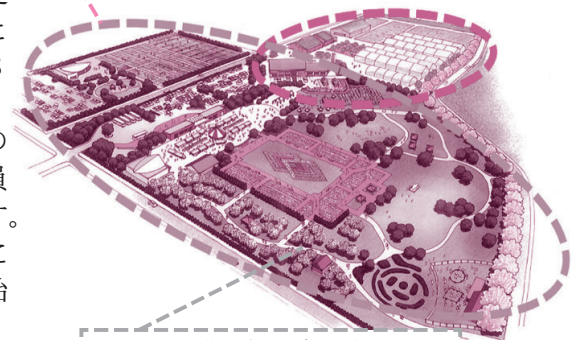
せんだい農業園芸センター(若林区荒井)のうち、花壇や芝生広場、市民農園等がある「農と触れ合う交流拠点(拠点B)」のエリアについて、現在の運営事業者との契約期間が令和7年度末で終了することから、令和8年度以降の運営事業者の公募を行っています。

令和7年8月25日(月)まで拠点Bの活用計画等の提案を受け付け、公募終了後に有識者からなる評価委員会が提案内容を評価し、運営事業者候補者を選定します。

候補者となった事業者は仙台市と協議を進め、運営に係る基本協定を締結した後、令和8年4月から運営開始予定です。

【農林企画課企画調整係(電話:214-8265)】

拠点A 収益性の高い農業推進支援拠点



拠点B 農と触れ合う交流拠点

農作業中の熱中症に気を付けましょう

熱中症は正しい知識を身につけることで、適切に予防することが可能です。休憩や水分補給、体調管理など、早めの対策で熱中症を予防しましょう。

○暑さ指数(WBGT)に応じた農作業を行いましょう！

暑さ指数(WBGT)は環境省ホームページで確認することができます。

[環境省:熱中症予防情報サイト 宮城県]

(https://www.wbgt.env.go.jp/wbgt_data.php?region=02&prefecture=34)

環境省:熱中症予防情報サイト



※令和7年6月1日から労働安全衛生規則が改正され、職場における熱中症対策が強化されることになりました。

熱中症の重篤化を防止するため「体制整備」、「手順作成」、「関係者への周知」が事業者には義務付けられます。

詳しくは厚生労働省が作成したリーフレットをご活用ください。

(<https://www.mhlw.go.jp/content/001476823.pdf>)



厚労省リーフレット

【農業振興課生産支援係(電話:214-8335)】

環境保全型農業に取り組む農業者団体を支援します

環境保全型農業直接支払交付金制度は、化学肥料・化学合成農薬の5割低減の取り組みとセットで、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者団体を支援する国の制度です。申請する場合は、農業者2戸以上で構成される農業者団体を設立し、5年間の事業計画について市から認定を受ける必要があります。

来年度以降、新たに環境保全型農業直接支払交付金の申請をお考えの方は、下記までご相談ください。

○事業要件、交付単価などの詳細については、農林水産省ホームページ

(https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/kakyou_chokubarai/mainp.html)

をご確認ください。



農林水産省ホームページ

【農林企画課農地活用係(電話:214-8334)】

【発行】仙台市経済局農林部(農林企画課、農業振興課、農業土木課)

〒980-0803 青葉区国分町3丁目6番1号 表小路仮庁舎(仙台パークビル9階)

電話 022-214-8265 FAX 022-214-8338(農林企画課)

◆Eメール kei008110@city.sendai.jp(農林企画課)

◆HP <https://www.city.sendai.jp/kurashi/shizen/norinsuisan/index.html>



仙台市農林水産業ページ



とれたて仙台WEBページ